

エコセメント化施設運営事業を継続して受託

エコセメント化施設は多摩地域（人口約400万人）で発生するごみの焼却残さをエコセメント（JIS規格に定められた土木建築資材）の原料としてリサイクルする世界で唯一の施設であり、平成18（2006）年の稼働開始以来、19年間にわたり、二ツ塚最終処分場内エコセメント化施設において安全かつ安心な施設運営業務に努めて参りました。エコセメントは道路、公園、高層建築物などのコンクリート製品や建設工事の資材として、主に首都圏内で活用されています。また、焼却残さのエコセメント化により、施設が立地する二ツ塚処分場では埋め立てゼロを実現するなど、最終処分場の延命に貢献して参りました。

エコセメント化施設の20年間運営契約が令和8（2026）年3月末で満了するにあたり、このたび親会社である太平洋セメント株式会社が、「エコセメント化施設基幹的設備改良工事及び運営事業」を受注し、当社は本事業の中の「運営業務」を受託し、令和7（2025）年8月6日に正式契約を締結しました。令和8（2026）年4月1日より25年間の運営・維持管理業務を継続して担います。

これからも地元の理解を得ながら、安心かつ安全で安定したエコセメント化施設の運営に努め、多摩地域の健全な生活維持に貢献する役割をはたしつつ、エコセメントの安定供給および二ツ塚最終処分場延命の一翼を担い地域貢献に努めるべく、施設の運営維持管理を確実に行って参ります。

代表取締役社長 田中 勲